



伏見SDGsの取組み紹介

札幌市立伏見小学校の6年生は委員会活動の目標として「伏見SDGs」を作成しました。卒業の取組みとして12項目の中で最も上位目標である「みんなで学校を創ろう」という目標を地域に拡大することでもっとよりよい学校になると考え、地域が企画している『もいわ山麓ゆきあかり2025（主催：山鼻第12町内会）』に6年生が参加することを決めました。



子どもたちは「この取組みが今後も伏見小学校の伝統として残るように」、「地域ともっとつながろう」、「雪や寒さをプラスに」という目的を掲げ、計画・運営を行いました。

「ゆきあかりがあまり知られていない」という事実に対して、事前周知とこれからも残していくことが必要だと考え、ポスター作成や放送での発信を行い、地域と学校で伏見地区を盛り上げようと考えました。「どのように伝えるとよさが伝わるかな」と構成や写真を試行錯誤しながら創り上げる姿から地域への思いを感じることができました。

また、今まで地域の人達がどのように考えてきたか、ともに考えていこうと町内会の役員さんやPTAの方との意見交流会を設け、計画・企画も行うことで地域とともに学校を創ろうと考えました。

他にも、総合の学習で学んだ国際雪像コンクールの考え方をもとに、「伏見小や伏見地区への思いを」というテーマで学校の玄関前で伏見小雪まつりも開催しました。

「伏見SDGs」の12項目



完成したポスター



伏見小雪まつりの様子

伏見小学校6年生のコメント

地域と協力するということは初めてでしたが、日々私達を支えてくれる地域の人とともに、創ることができてとても楽しかったです。雪にはマイナスイメージがよくついていますが、その雪を通して、みんなの心が温まる素敵なイベントになりました。この取組みが伏見に残るといいなと思っています。今後、この取組みが残り、広まるよう動画作成を行う予定です。



こんなところにもロードヒーティング

坂のある車道や人通りの多い歩道にあるロードヒーティングですが、全ての歩道橋にも付いています。歩道橋の近くには、ロードヒーティングの制御盤もあります。これで、冬でも安全に道路を渡ることができますね。



スイッチは誰が入れている？

ロードヒーティングは路面センサーで温度と水分を感知して制御盤によって自動運転しています！気温と路面温度が低いときに降雪があると運転を開始し、雪が止んで路面が乾くと運転を停止します。



制御盤



手稲東小学校前歩道橋

※札幌市管理の横断歩道橋

【取材・原稿執筆】多田 公洋 教諭(札幌市立福井野小学校)

市内に設置されている歩道橋は、37箇所あるよ！※



Q 公園に雪を入れてもいいの？

A 公園には原則として雪を入れることはできません。

遊具・樹木の損傷や事故を誘発する可能性があるため、公園には雪を入れることはできません。ただし、町内会等と札幌市との間で「覚書」を交わし、責任を持ってルールを守ることによって公園内に雪を入れることができます。

これまでに、町内会と覚書を交わし、地域の雪置き場として活用した公園は、市内の都市公園約2,700箇所のうち約1,600箇所(約6割)あります。また、冬の公園利用は夏とは違う注意点があるので、子どもたちへの周知をお願いします。

冬の公園利用の注意点



❗ 雪山から道路に滑り降りるのは絶対だめ！



❗ 遊具の周りに見えない空洞ができて、落ちて、けがをすることがあるので注意！



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能！

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります！

札幌雪学習

検索

雪学習
HPIは
こちら→

